

今年度の主な取組

【授業実践の充実と質的向上】

- ・児童生徒の思考力、判断力、表現力（問題解決力）を高める指導法の工夫（言語活動の充実・デジタル教科書・デジタル教材の活用・研究授業と実践）
- ・「作文・意見文発表会」に向けての継続的で充実した作文指導（音読、日記・作文指導の継続）

一日々の授業実践において心がけること一

研究テーマに添い、日々の授業づくりを意識して進めていく。また、新学習指導要領が唱える「主体的・対話的な深い学びの実現」のため、本校では、協働の学びを大切にしていける。全体において、グループにおいて、ペアにおいて児童生徒の動きがある学びの場を実現する。

【学部経営、学年経営、学級経営、教科経営の充実】

- ・学部経営、学年経営の充実と報・連・相（報告、連絡、相談）とチームワークの重視
- ・学級担任と専科担当との協力指導体制の確立
- ・児童生徒が居場所を感じられる学級経営の実践
- ・子どもの自主性を伸ばす児童生徒活動の充実

【保護者との連携】

- ・学校だよりと学年・学級だよりの創意工夫
- ・保護者と学校との意思疎通の充実（ホームページの改善と充実、お知らせの校内掲示、学校だよりや学年・学級だよりの創意工夫）
- ・参加型授業の工夫（授業は年間計画に位置づけて計画的に行い、講師依頼は教務会との連携のもと進める）

補習授業校は、児童生徒の学習を評価し、学習の意欲を高める為の保護者啓発を進めていく事も大切である。そこで、次のような取り組みを進めていく。

（１）夏休み課題

- ・夏休み課題は取り組ませる。2学期以降開校でも、課題展示はしない。ただし、発表等については各学年、教科で対応する。

（２）全校一斉「漢字まとめテスト」（・開校時期、状況によっては変更される場合があります。）

（３）幼稚部年長組「日本語検査」、小3・5の「学習状況調査」

（・開校時期、状況によっては内容等変更される場合があります。）

（４）海外子女文芸作品コンクール

- ・本年度も個人応募とする。学校や各担任から自主的な参加を促すよう呼びかける。
- ・結果については、全校生の励みになるよう学校便りで知らせる。

（５）作文・意見文発表会 オンライン、開校にかかわらず実施予定。